

一般質問通告書

令和3年第3回議会定例会（令和3年9月）

質問者（9名）

- ① 奥山雅貴
- ② 今井吉男
- ③ 外山利章
- ④ 窪田 仁
- ⑤ 西 文男
- ⑥ 城村 誠
- ⑦ 宗村 勝
- ⑧ 福川勝久
- ⑨ 根釜昭一郎



知名町議会

通告順	議席 2 番	奥山 雅貴	令和3年9月 日
1			時 分 ~ 時 分
1. 農道整備について			
<p>黒貫字から大山へ向かうとハチマキ線にあたります。その十字路の中山間整備事業が3年経っても進んでない状況です。土地の購入がむずかしい所があるとききました。その農道を使用している方達からの要望です。路線変更案を別紙でお配りしています。この案をつよく要望しますが町としてどう考えるか。また、瀬利覚農道となっているが、名称変更は考えているのか。</p>			
2. 観光、移住について			
<p>奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島が世界自然遺産登録決定となり観光客の増加が見込まれるが、登録外の本島に観光客や移住者を呼ぶ具体策を隣町や観光協会と協議しているのか。</p>			
3. 台風対応等について			
<p>7月、8月と連続で発生した影響で船が数日間入港できませんでした。1年前に自衛隊の輸送艦をおねがいできないかと質問しました。この件について国政関係者に相談したところ、町長から県知事、県知事から自衛隊へ災害派遣を要請し派遣となりますが、自衛隊は何でも屋ではないので派遣に対しての線引きが難しいと回答がきました。本島の方達は防災が身につけているので食料品などのストックがあると思いますが、生理用品や紙おむつなどの生活用品などのストックが大変だと思います。これらの食料品、生活用品の備蓄を両町で協議し、島民の為になるよう動いてほしいのですが、現在本町のこれらの備蓄能力はどれだけあるか。</p>			

× ε

通告順	議席11番	今井 吉男	令和3年9月 日
2			時 分 ~ 時 分
1. 「知名町気候非常事態宣言」に伴う具体的取り組み状況について			
<p>① 本町は、昨年9月に気候非常事態を宣言、具体的な取り組み状況は。</p> <p>② 食品ごみを再利用、メタン発酵で取り出したバイオガスによる発電など、再生可能エネルギーの取り組みはできないか。</p> <p>③ 令和2年度にフローラルパークに設置した小型風力発電機（設置費用2,592万円）の実証実験結果と今後の実用化計画は。</p>			
2. 田皆岬園地再整備事業（事業費約1億3,000万円）関連について			
<p>① 田皆岬園地再整備事業（事業費約1億3,000万円）に並行して、アクセス道路の改良工事はできないか。</p> <p>② 田皆岬の展望デッキ下側の岩に亀裂（割れ目）があり、地震発生時に崩落の危険性があるが、事故防止策をすべきでは。</p>			
3. 知名中学校に隣接する道路（町道・農道）の交通事故防止策について			
<p>知名中学校に隣接する瀬利覚から芦清良間の道路（町道・農道）で交通事故が多発していますが、優先道の表示や一時停止表示をして、事故防止策はできないか。</p>			
4. 知名町誌編纂作業の進捗状況について			
<p>① 林教育長は、昨年の12月定例会で町誌編纂について「今年度（令和2年度）中には、目標発刊年度の設定、発刊方法等、方向性を決定して進めていきたい」と答弁しましたが、進捗状況は。</p> <p>② 町制80周年（令和8年9月1日）に目標設定し、林教育長の任期中（任期9月30日）にタイムスケジュールを示せないか。</p>			

メ モ

通告順	議席12番	外山 利章	令和3年9月 日
3			時 分 ~ 時 分

1. 地産地消・食育の推進と支援体制について

- ① 第3次知名町食育・地産地消推進計画における最重点事項は。また目標達成に向けたロードマップは策定されているか。
- ② 小、中学校における食育活動は子供たちの健全な成長に加え、地域農業への理解を深める重要な機会と考えるが、その活動支援に向けた体制はとられているか。
- ③ 学校給食における島内産野菜の自給率が計画未達となっているが、その要因は。また今後、自給率向上に向け、どのような取り組みを進めていくのか。
- ④ 域内経済循環構築の一環として地場農産物生産者と販売者などを会員とする「知名町地産地消推進協議会」が設立されたがその目的と役割は。
- ⑤ 地産地消の更なる推進には需要と供給をマッチングする組織の立ち上げが必要だと考える。地域の食循環を促すシステムづくりを目的とした地域おこし協力隊を公募し、農業を基盤とした新たな産業創出を目指すべきではないか。

2. 新庁舎建設について

- ① 新庁舎建設に向けた具体的なスケジュールはどの様に計画されているか。
- ② 当初計画されていた新庁舎建設予定地が変更した経緯は。また変更の妥当性を町民に説明する義務があると考えますがその予定ならびに方法は。
- ③ 新たな建設予定地の造成計画と周辺整備(道路)はどのように予定されているか。

メ モ

通告順	議席5番	窪田 仁	令和3年9月 日
4			時分 ~ 時分

1. 農業振興について

おきのえらぶは、農業振興が重要だ !!

本町の農業産出額は、令和元年が46億2千万円に対して、隣町は、郡島トップの76億8千万円と差額が30億6千万円と成っています。

令和元年市町村別農業産出額 (単位：1000万円)

市町村	農業産出額	イモ類	野菜	果実	花き	工芸 農作物	肉用牛	その他
奄美市	218	0	27	54	×	65	46	26
大和村	18	0	4	14	-	-	-	0
宇検村	23	-	3	9	-	2	4	5
瀬戸内町	47	-	4	12	-	2	27	2
龍郷町	56	0	8	10	×	4	31	3
喜界町	373	0	43	7	3	205	113	2
徳之島町	322	44	9	18	×	93	140	18
天城町	380	40	15	6	1	122	196	0
伊仙町	352	98	9	3	0	90	150	2
和泊町	768	167	79	5	250	103	164	0
知名町	462	164	20	3	66	149	58	2
与論町	349	0	52	4	×	46	238	9

※「0」は1000万円未満、「-」は生産実績なし、「×」は未公表。

※農林水産省「令和元年市町村別農業産出額（令和3年6月15日公表）」より

- ① 農業産出額で隣町との価格差大きいのが、原因と今後の対策についてどのような方策を検討されているのか伺います。
- ② スマート農業と労働力不足から機械化の導入で大量生産できる体制作りについて伺います。
- ③ 国が2050年に向けて有機農業を全農地の25%(100万 ha / 500万 ha) 拡大に向けた計画を出しています、本町の有機農業の取組みについて伺います。

2. 脱炭素化事業の観光資源化について

- ① 脱炭素社会へ向けた未来型新庁舎建設を観光資源活用できないか。
また、地元建設関連業者の参入についてどうか伺います。
- ② 脱炭素社会へ向けた具体的な事業説明会はできないか。
- ③ 脱炭素社会にむけて学生向けに電動バイクの普及補助はできないか。

3. 黒糖焼酎の町無形文化財指定について

沖縄県が焼酎泡盛を2024年に世界無形文化遺産登録を目指しています。
そこで本町の黒糖焼酎文化を町の無形文化財登録に指定して知名度を上げて更に黒糖焼酎の消費拡大と本町の特産品として国内外に発信できないか。

4. 中央公民館の建設計画について

- ① 歴史博物館(ミュージアム)として建設構想はできないか。
- ② 奄美群島内で本町だけ歴史博物館が無いが何故なのか伺います。
- ③ 文化財の展示や調査・研究 そして歴史や考古学研究者の拠点施設にできないか伺います。

5. 道路の整備・補修について

- ① 農道、第三知名東部1-5号線に交差点が多く、飛び出しの事故が多い事故防止観点からの止まれの白線など対策はできないか。
- ② 上城花窪線の道路整備は地元の要望が長期間続いています、多額の負担金も有り整備の進捗状況について伺います。
- ③ 農道、雪取上城線の段差へこみを関連補修できないか。
- ④ 新城の町道、(新城アバ線・新城田水線)は周りに民家も有り交通量も多いアスファルト舗装できないか。

メ モ

通告順	議席 9 番	西 文男	令和3年9月 日
5			時 分 ~ 時 分
1. 新庁舎建設事業について			
<p>① 新庁舎建設の今後具体的な計画はどうなっているか。また完成予定はいつ頃か伺う。</p> <p>② 新庁舎建設に伴う、土地の総面積はどれ位か、そして建築延床面積、建築面積、駐車場面積、ランデブーポイント面積等はどれ位か伺う。</p> <p>③ 新庁舎建設に伴う建設費、用地取得費、また取得面積、造成工事費、外構工事費等含めた、総工事費はいくらになるのか伺う。</p> <p>④ 新庁舎建設に係る総額費用の内訳について、国の補助金、庁舎建設基金、自主財源金額はいくらか伺う。</p>			
2. 新型コロナウイルスについて			
<p>① 現在新型コロナウイルスが、日本全国に以前にも増してデルタ株による感染が急拡大している状況で、町の感染拡大防止対策はどうなっているか、町民への情報の周知徹底や、協力の要請について伺う。</p> <p>② 新型コロナウイルスによる、クラスター発生にどのような対策を講じるか、また町の来島自粛等考えているか伺う。</p>			
3. 国営地下ダムについて			
<p>① 工期が延長したと聞いているが、完成予定は何年ですか伺う。</p> <p>② 余多揚水機場から大山吐水槽までの送水管の総延長はどれぐらいか。又送水管の径はどのぐらいか伺う。</p> <p>③ 地下ダム完成後の管理方法はどうか。</p>			

4. 教育行政について

離島の子供達に、夢と勇気と希望の大切さを伝える、離島甲子園があるが、町の将来を担う子供達が文武両道で頑張っているのが現状で有る。中学生の全国離島交流野球大会参加の補助は出来ないか伺う。

メモ

通告順	議席3番	城村 誠	令和3年9月 日
6			時 分 ~ 時 分

1. 今井町政4年間の総括について

- ① チェンジを掲げ多くのマニフェストを町民と約束したが、1期目を振り返り大きく変わったことは何か。
- ② 「まだ道半ばであり、2期目を目指す。」としていますが、目指すもの達成すべき施策は何か。

2. フローラルホテルの経営について

- ① 長期にわたり赤字経営が続いているが、改善策を尽くしているのか。
- ② 民間に経営を任せる等、抜本的改革も必要ではないか。

メモ

通告順	議席10番	宗村 勝	令和3年9月 日
7			時 分 ~ 時 分
1. 農業振興について			
<p>今期の馬鈴薯の生産は高値販売が続き生産者にとって潤いを与えていただきました。その反面病害虫（軟腐病や青枯れ病等）が蔓延し島全体の生産量は70%に留まったと聞いております、軟腐病等の病気障害は改善が困難だと知らされております将来を見据え新規作物の導入を早期に模索すべきだと思いが。</p>			
2. 樹木や雑草等の伐採後の資源化について			
<p>道路や農地等の樹木や雑草を伐採する際にその処理に苦慮しているのが現状であります、木材の場合はシュレッダー等で粉砕することにより最小化することが出来ます、またそれを資源化（堆肥等）することができるのではないかと思います。多面的交付金等を利用して導入を図るべきではないか。</p>			
3. 中山間地域総合整備事業の進捗状況について			
<p>中山間地域総合整備事業瀬利覚農道（旧・黒貫大山線）は数年も前から整備計画があるにもかかわらず手つかずの状況にある。早期に改修をして大型車の通行に支障の無いように望む。</p>			
4. 島単位での大型室内総合施設（仮称アリーナ）の計画について			
<p>隣町の新町長がアリーナの建設は島単位で検討すべきであるとコメントしております、本町の町民体育館は老朽化が著しいと感じますので施設の稼働率等を勘案し隣町と協力し検討されてはどうか。</p>			

メ モ

通告順	議席 1 番	福川 勝久	令和3年9月 日
8			時 分 ~ 時 分
1. 子供達の安心安全について			
<p>千葉県八街市（やちまたし）での下校中の児童5人が死傷する交通事故、福岡県中間市での保育園の送迎バスに置き残された園児の死亡事故を受けて、町内各小中学校の通学路の点検、認定こども園の送迎マニュアルの点検、確認を行いましたか。また登下校中や送迎に関して子供たちの安心安全は確保されていますか。</p>			
2. 結婚祝い金制度の創設について			
<p>子育て支援策においては妊娠出産、入学、卒業、概ね18歳までの子供がいるすべての世帯に切れ目のない支援をしていかなければなりません。しかし、すべての始まりは結婚であると思います。晩婚化の解消や出生数、出生率を上げるためにも、結婚新生活支援金として結婚祝い金制度を創設すべきではないか。</p>			
3. 地球温暖化対策の推進について			
<p>気候変動による災害の激甚化、広域化が顕著になってきています。世界のどこでも大災害が発生しやすくなり、危険が迫っています。未来の子供たちに安心して住める地球環境をつないでいかねばなりません。そこで、次の事について質問します。</p>			
<p>① 国の地球温暖化対策計画、2030年までに2013年度比46%削減・2050年実質0を目標としています。本町の計画はどのように作成されますか。</p>			
<p>② 温暖化対策は再生可能エネルギー普及拡大を行い、化石燃料の使用を減らす取り組みになります。発電所の二酸化炭素排出量を大幅に圧縮していきます。しかし、離島の安定的な電力は引き続き九州電力にお願いするしかありません。協議や連携を密にして、計画を進めるべきではありませんか。</p>			

- ③ 本格的に取り組むため温暖化対策推進課の新設を提案しましたが、企画振興課内に温暖化対策推進室を設けることとしています。すでに設置されたのでしょうか。また、公用車を順次電気自動車にしていくとのことですが、第一号車の納入はいつ頃の予定ですか。
- ④ 町長の将来ビジョンの中に新庁舎のゼロカーボン化や、知名町電力株式会社、知名町水素エネルギー株式会社の設立も考えていますか。

メモ

通告順	議席 8 番	根 釜 昭一郎	令和3年9月 日
9			時 分 ~ 時 分

1. 航空便の時間帯の変更要望について

沖永良部～奄美大島の航空便の時間帯の変更が町民の利便性の向上に繋がると考えます。そこで、いくつか質問します。

- ① 現状で、1日の会議に対する出張の場合、鹿児島市、奄美市それぞれ経費はどれくらい要しているのか。
- ② 公的奄美市へのお出張は、平時の場合何回程度あるのか。
- ③ 以前と比較して、どれだけの費用と時間を要するようになったのか。
- ④ ホッピングルートを逆にすることは出来ないのか。
(現状：奄美大島→徳之島→沖永良部→沖縄が先行便
代案：沖縄→沖永良部→徳之島→奄美大島を先行便へ)

2. 通学路について

現在、ハチマキ線の一部（下城～上城小学校～上城）が田皆中学校の通学路となっている。以前にも議会で取り上げられましたが、街灯も無く、側溝の蓋も無く、夜間帯や通行車両との交錯時に自転車通学時・徒歩通学時、共に大変危険な状況である。

- ① 農道扱いではあるが、一部区間の側溝の蓋を整備できないか。
- ② 旧道は、電柱に街灯が設置されているが、電柱の不要なソーラー式の街灯の設置はできないか。

3. 観光振興について

- ① 県道・町道に高木がせり出してきていることにより、バス運行時にやむを得なく、センターラインを超えて運行せざるを得なく危険である。バス路線の一日も早い改善が必要と考えるが。
- ② 奄美トレイルがあるが、観光客の前に町民への周知がまだまだ必要と感じるがどう考えるか。また、維持管理の計画はどうなっているか。
- ③ 先日、新聞報道でもありましたイソギンチャクとクマノミの持ち去り案件は、貴重な観光資源の喪失である。この件に関してどう考えるか。また、今後どのような対策を講じていくのか。

メモ